

業績向上のための“当たり前行動”できていますか？

— 新入社員を迎えた今が見直すチャンス —

新入社員研修での一コマ。“休憩時には、椅子を机の中にしまってから退室しましょう”。研修講師からの指摘を受け、素直に実践する新入社員。その後、先輩社員達が使用している休憩室に行くと・・・出しっぱなしの椅子がちらほら。

「朱に交われれば赤くなる」という言葉がありますが、こんな状態では素直な新入社員だけに悪い意味で染まってしまうかねません。せっかく研修で身につけた基本（当たり前）行動を、配属後にも実践し続けることは難しそうです。

そもそも、新入社員の皆さんが研修で学ぶ“当たり前意識と行動”は、何のために必要なのでしょうか。

例えば、「周囲が気持ち良く仕事をするためのマナー」「お客様の好感と信頼を得るための電話対応」「効率よく仕事をするためのPDCAサイクル」「組織全体の成果を大きくするための報連相」「生産性向上のための5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」等々。

このように、“業績向上のため”に不可欠なことが「当たり前行動」です。したがって、新人達だけが行えばよいことではありません。むしろ、上司や先輩が率先して実行し、範を示すべきでしょう。

新入社員を迎えたこのときこそ、自社の“当たり前”は徹底できているのを見直すチャンスではないでしょうか。

弊社では、業績向上のため、全社員に当たり前行動を徹底する「企業人ドック研修」を実施しております。

企業人ドック研修（カリキュラム例）

1. 「企業人の6大意識意識」自己診断と自社全体の課題発見
2. 当たり前行動の徹底度と問題発見・解決策の策定
3. 当たり前行動の実践・定着訓練
4. 自己成長計画書の作成でOJTに繋げる 等々

この研修は、職場ぐるみで受講していただくことで効果が上がります。また、新入社員研修受講済みの新人を加えると復習効果があり、学びを定着させることにも繋がります。

弊社では、定型ではなく貴社の個別事情に合わせたオリジナルカリキュラム・運営方法をご提案いたします。是非、ご興味・ご質問がございましたら、下記よりお問い合わせ下さい。



> お問い合わせはこちら